

榎本 好来 エノモト・ヨシキ

言葉より先に、絵が、歌があった。
ためらいのない線、くっきりとした色。
図鑑やテレビ番組を自分なりにアレンジして、
あつという間のスピードで描き上げる彼の
作品には、「大好き！」が詰まっています。



鈴木 伸明 スズキ・ノブアキ

震災の時、コロナの時、いつも通りにい
かない事がたくさんありました。そんな中、
「いつも通り」描き続けました。絵を描く
事は、ご飯を食べる事と同じくらい、
精神面で落ち着く事だと思います。

督永 樹楽 トクナガ・イク

機械的な細部から構成される「イキモノ」。
日用品を組み合わせた自作の部品で、身体
関節の可動域を再現することにこだわり
を持っています。



友野 千夏子 トモノ・チカコ

幼少期から、病気の間もその後も、粘土
を触って、“一人ひとり”に着物を着せて…。
自分の中に住んでいる存在と頭の中の世
界、それらを個性豊かな猫たちの日常風
景で表現しています。

西山 洋亮 ニシヤマ・ヨウスケ

27歳の若さで天に召された洋亮さん。言
葉を持たない彼の、心の奥深くから湧き
出た色彩と形が、無限の感動を私達に伝
えてくれます。



松下 英彦 マツシタ・ヒデヒコ

職場の絵画クラブで絵と出合って 36年。
以来、独自の 방법으로、街や人など身近な
ものを描き続けています。

三峰 キタル ミツミネ・キタル

自分の好きなことを大切にしながら生活
を送るキタルさん。お話を考えることが好き
で、小説を書き続けています。

自由な心の旅人は
未知なる明日へ
「私たちの固定観念が、
どれだけ視野を狭めて
きたか気づかされたわ
この経験は、きっと今
後の人生で大きな意味
をもつはずよ」



深山 春 ミヤマ・ハル

現在6歳のハルさんは、5歳の頃から絵
を描き始めました。特に妖怪を描くこと
が大好きで、紙面いっぱい、さまざま
な表情の妖怪たちを表現してくれます。
そんなことがハルさんの日常です。

やまかわ ようこ ヤマカワ・ヨウコ

幼少期から描くことに夢中だったが、それ
を隠し続けた結果、うつを発症。現在も闘
病を続けながら、独学で制作活動が続け
ています。



WAKA ワカ

ホスピタルフォトグラファー。
「病気に向きあうこどもの日常を家族の
ステキなワンシーンへ」と切り取り、ホ
スピタルフォトとして提唱。病気に限ら
ず、こどもと家族を撮り、2024年7月、
武蔵野プレイスにて個展を開催しました。

参加無料 会場：吉祥寺美術館音楽室、または展示室

1 ギャラリートーク 推薦アーティストと三友周太(武蔵野アール・ブリュット2024実行委員会 アドバイザー、Artist/Pharmacist)

2 RAKUGAKI ワークショップ 坂口寛敏(武蔵野アール・ブリュット2024実行委員会 アドバイザー、東京藝術大学名誉教授)

①②の参加は当日先着順で受け付けます。

3 林賢(武蔵野アール・ブリュット2024実行委員会副委員長、NPOクリエイティブライフデザイン代表、アートコミュニケーター)

3-1 目が見えない状況下での対話型アート鑑賞
対話型アート鑑賞
共に語り楽しむアール・ブリュット
視覚障害のあるなしに関わらず参加できます。事前申し込みの先着12名程度

3-2 筆談での対話型アート鑑賞
聴覚障害のあるなしに関わらず参加できます。事前申し込みの先着6名程度

4 ブラインドコミュニケーター石井健介氏との対話型アート鑑賞
事前申し込みの先着8名程度

5 全盲のアートナビゲーター難波創太氏との対話型アート鑑賞
事前申し込みの先着8名程度

申し込み方法 ③-1・2、④⑤へ参加ご希望の方

「申し込みメール」からの事前申し込みをお願いします。空きがある場合は、当日先着順となります。

右のQRコードを読み取り、参加希望のイベントURLをクリック → 「メール作成画面はこちら」をクリック → 必要事項を入力し、メールを送信してください。



6 “きづきのつづき” 感想の交歓コーナー 実行委員会の委員とボランティアがコミュニケーターとなり、アートを通したみなさんの“きづきのつづき”で楽しく交流します。

7 参加型展示「発見！ まちなかアート」 武蔵野市周辺でみなさんが見つけて投稿したオンライン企画「まちなかアート」を展示。当日の参加もお待ちしております。(別会場：「HANDo」会場 Map 参照)

地域企業との
コラボ企画も
進行中!



武蔵野アール・ブリュット
ロゴ「むさしのちゃん」

各イベントの詳細は下記からご確認ください。

公式
ホームページ



実行委員会
facebook

